

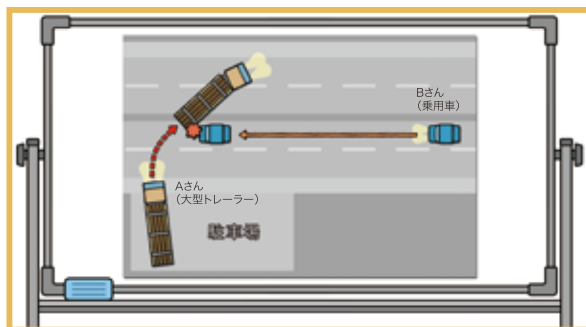
事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に  
至るまでの  
状況

Aさん(男性、30代、大型トレーラー)は、24tの荷物を積載して深夜に会社の駐車場から右折して、県道に出ようとしていました。積み荷はコンクリート側壁の型枠で、車の全長は15mほどになりました。慎重に取り扱わなければならない積み荷なので、時速は5キロほどでゆっくり進行。県道に入る手前で一旦停止をして左右確認をしたところ、右から進行してくる乗用車を認めましたが、遠方に見えたので大丈夫と思いそのまま進みました。

車両全体が県道に進入した時に衝撃があり、後部にBさん(男性、50代、乗用車)が衝突したことがわかりました。Bさんは事故時前日に徹夜だったこともあり、漫然運転になっていました。衝突によりBさんの車は大破してしまいました。

事故現場  
略図



## 事故の原因

事故の原因は、Bさんの漫然運転とAさんの右側確認後、発進する際の不適切な判断によるものと思われる。また、付近の道路にはほとんど街灯がなく、会社の駐車場の出口付近にも照明がなかった

のと、Aさんのトレーラーに付いていた側灯は小さくてあまり明るくなかったので、Bさんが気付かなかったことも事故に至った原因と思われる。

## 安全運転に向けて指導のポイント

全長が長い車で道路を横切るときは、交差道路の走行車両の速度も加味して確認をしましょう。また自車が横断していることを他車に知らせるために「側

灯は明るさが十分なものにする」、「横断中はハザードランプを点灯させる」など目立つように工夫しましょう。

## 今月の安全メモ!

- ・全長の長い車で道路を横切るときは、交差道路の走行車両の速度も加味して確認しよう!
- ・ゆっくり進行する必要があるときは、ハザードランプを活用しよう!